



武藤ようじ政治瓦版

2014年

5~6月号

vol.25

関・美濃・羽島・各務原・山県・瑞穂・本巣・岐南・笠松・北方・柳津

■ホームページ <http://www.mutou-youji.jp> ■Eメールアドレス info@mutou-youji.jp

平成26年5月1日発行 発行/岐阜県第三選挙区支部

日米同盟を力強く復活!

引き続き、信念と情熱をもって 「決める政治」を押し進めます。

4/24、安倍総理は国賓として訪日したオバマ大統領との間で日米首脳会談を行い、日米間の安全保障、経済(TPP、エネルギー・気候変動、超電導リニア)、医療・保健協力、人的交流、また、国際情勢(ウクライナ、北朝鮮、韓国、中国)などについて幅広く意見交換。

日米同盟は、平和で繁栄するアジアの礎であり、国際協力の基盤です。安倍総理の下、政権与党として引き続き、国政に邁進し、経済政策、安全保障等取り組んでまいります。

以下、首脳会談後の総理会見の要旨(抜粋)です。



4/8安全保障委員会にて小野寺防衛大臣に質問

日本と米国は、自由、民主主義、基本的人権、法の支配といった基本的価値を共有し、戦略的利益を共有するグローバルなパートナーであります。そのパートナーシップを有する両国の強固な日米同盟は、アジア太平洋地域の平和と繁栄の礎となっています。日本が掲げる積極的平和主義と米国の進めるアジア太平洋重視政策は、共に地域の平和と安定に貢献するものであり、互いに評価し歓迎しました。その上で今回バラク(オバマ大統領)との間で、平和で繁栄するアジア太平洋を確実にするための日米同盟の主導的役割を確認することができたことを申し上げたい。安全保障に関しては日米ガイドラインの見直しをはじめ、幅広い安全保障、防衛協力を推進していくことで一致しました。(中略)日米同盟はかつてないほど、盤石であります。(中略)ぜひバラクと私で、これまで一番良好な日米関係を築いていきたいと思っております。

日米共同声明発表!

4/25、日米首脳会談の成果などを盛り込んだ共同声明を発表。「尖閣諸島」を明記し日米同盟の強化を示すなど、両国にとって画期的な声明となりました。以下、その部分の抜粋です。

米国は、最新鋭の軍事アセットを日本に配備してきており、日米安全保障条約の下でのコミットメントを果たすために必要な全ての能力を提供している。これらのコミットメントは、尖閣諸島を含め、日本の施政の下にある全ての領域に及ぶ。この文脈において、米国は、尖閣諸島に対する日本の施政を損おうとするいかなる一方的な行動にも反対する。

「アセット」:資産、「コミットメント」:約束、関与